

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

グループ経営理念

お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献する

営業収益
3,750億円

営業利益
380億円

ROE
8%以上

連結配当性向
30%以上

② 中長期の経営戦略

1. 空港アクセス強化

成田空港の機能強化に対応。宗吾車両基地拡充、新型有料特急導入、スカイライナー車両導入、複線化、駅整備を推進

3. 安全・安心強化

安全を根幹の課題とし、テクノロジー活用による災害対策と安全取り組みを強化

2. 不動産業の強化

第2の柱として不動産業を拡大。外部環境変化への耐性が強い事業ポートフォリオ構築を目指す

4. 沿線価値向上

活力が持続するまちづくり、エコロジカルなまちづくり、観光資源開発を推進

③ 対処すべき課題

① 成田空港対応投資

- ・ 2028年度末以降の機能強化に対応した継続的な大型投資が必要
- ・ 訪日外国人増加と空港機能強化への適時適切な投資実行

② 事業環境の先行き不透明性

- ・ 少子高齢化、国際情勢の影響による事業環境の不確実性
- ・ 外部環境変化への耐性強化を目指した事業ポートフォリオ構築

③ ステークホルダー価値提供

- ・ 長期的かつ持続的な価値提供の継続
- ・ コンプライアンス・リスク管理体制の充実と内部統制強化

面接で使えるポイント

- ・ 成田空港の機能強化を企業価値向上の機会と捉え、空港アクセス強化に継続的投資を実行する成長戦略
- ・ 不動産業を第2の柱として位置づけ、2027年度営業収益3,750億円・ROE8%以上を目指すポートフォリオ多角化
- ・ グループ経営理念『安全・快適に提供し社会発展に貢献』のもと、安全・安心を根幹課題とした5つの長期経営課題を推進

証券コード 9009

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,324億円営業利益率
10.2%財務健康度
50点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 61.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
799万円

陸運業内 14位/57社

平均年齢
40.9歳

陸運業内 43位/57社

平均勤続
17.4年

陸運業内 18位/57社

女性管理職
4.0%

陸運業内 33位/46社

男性育休
63.8%

陸運業内 32位/44社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 押上～成田空港間を結ぶ新型有料特急列車の愛称を募集します！

